

報道関係各位

2021年2月1日

ソリトンシステムズと CCDS*、 IoT デバイスのセキュリティ認識の強化・普及のために、提携

* CCDS—Connected Consumer Device Security Council

株式会社ソリトンシステムズ(代表取締役社長:鎌田信夫、以下ソリトン)は、一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS,代表理事:荻野 司)と、日本の消費者向けデバイスのセキュリティに対する認識向上と普及を促進するため提携し、ソリトンのアセスメントサービスを広く提供することで合意しました。

ソリトンは以前から、「日常生活で利用するデバイスで予期せぬ動作が発生し、利用者の身体や生命および財産に影響を及ぼしたりしないように、安心、安全に利用できる環境を実現する」という CCDS のミッションに、賛同しており、IoT デバイスのセキュリティを実現するために、ソリトンは、より高度な技術とサービスを提供、支援していくこととなりました。このサービスには、ソリトンの技術パートナーである Refirm Labs 社(以下 Refirm Labs)の知見も含まれます。

ソリトンによる支援サービスとして、まず、

IoT デバイスを製造する CCDS の会員企業および非会員企業に対して、CCDS セキュリティアセスメントサービスを無償で提供します。この無償サービスは Refirm Labs の「Binwalk」という自動診断機能をベースとしており、CCDS の共通要件への適応レベル、そのデバイスの脅威レベル、検知された脆弱性の数、設計上のセキュリティ改善点の数などについて提示するものです。

{サービス提供期間と申込方法}

このサービスは 2021 年 2 月 3 日より、提供を開始します。

利用したい企業は、CCDS のサイトから申し込み、ソリトン経由で「Binwalk」のクラウドプラットフォームにファームウェアをアップロードします。

診断結果は即座に得ることができます。(注:本サービスで CCDS 認証を取得できるものではありません。)

尚、ソリトンでは、このプログラムと同時に、製造企業およびアセットオーナー企業に対して CCDS サーフイケーションマーク申請のサービスや IoT ファームウェア脆弱性調査コンサルティングサービスの提供も開始し

ます。

CCDS サーフティフィケーションマーク申請サービスは、CCDS 指定審査資格者が実施できるものであり、ソリトンには複数の資格者がいます。

The screenshot shows the CCDS website interface. At the top, there is a navigation bar with 'English' and 'CCDS IoT向けフリーアセスメントプログラム'. The main content area features a 'CCDS & ソリトンシステムズ IoT向けフリーアセスメントプログラムのご案内' section. Below this, there is a 'プログラムの目的' (Program Purpose) section, followed by a '推奨トライアルの概要' (Recommended Trial Overview) section. The trial overview includes a flowchart showing the process: '組込機器' (Embedded Device) -> 'ファームウェア 送付' (Firmware Delivery) -> '解析' (Analysis) -> 'ご報告 オンライン解説' (Reporting and Online Explanation). The flowchart also includes logos for 'refirm labs' and 'Binwalk'. Below the flowchart, there is a 'IoT向けフリーアセスメントプログラムのお申し込み' (IoT Free Assessment Program Application) section with a red 'お申込みフォーム' (Application Form) button. A red arrow points from the 'IoT向けフリーアセスメントプログラム' link on the CCDS website to the 'お申込み' button on the Soliton website.

① CCDSのトップページより、「IoT向けフリーアセスメントプログラム」のバナーをクリック

② 概要ページから「お申込み」のバナーをクリック

③ ソリトンシステムズのページよりお申し込みください。

■株式会社ソリトンシステムズ 代表取締役社長 鎌田信夫からのコメント

「日本の消費者の皆様が、接続機器を安心、安全に利用できるようにするという CCDS の目標に協力できることを喜ばしく思います。日本や世界中で接続されている IoT デバイスの数が急速に増加していることを考え、それらのセキュリティレベルを向上させるために、製造企業だけでなくアセットオーナーと協力しながら、役立つサービスを提供していきます」

■CCDS 代表理事 荻野 司氏からのコメント

「IoT 機器や IoT サービスに対する脅威は急速に広がっています。製造企業は、自社製品・サービスの脆弱性を知ることは、以前よりも重要になってきています。特に、製品やサービスが使用している全てのオープンソースソフトウェア (OSS) のバージョンを追跡することは重要です。今回、ソリトンシステムズ社が日本の製造企業およびアセットオーナー企業に無償のアセスメントサービスを提供することを歓迎します」

【重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS) について】

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS) は、IoT 機器や IoT サービスを安全・安心に利用できる環境の実現を目指し、我が国のものづくり産業の発展と新規事業創造、そして国民生活の向上に寄与することを目的として、セキュリティ技術に関する調査研究、ガイドラインの策定や標準化の検討、および普及啓発を行っています。

【 Refirm Labs 社について 】

2017年に元 NSA(米国国家安全保障局)の職員等により設立、Red Teamで磨いた攻撃ノウハウを基礎としてサイバー攻撃に関する豊富な知識と経験を有しています。RSAの2018年トップ10イノベーターファイナリストの一つに選ばれました。

【株式会社ソリトンシステムズについて】

設立以来、ソリトンシステムズはIT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心としたITセキュリティからサイバーセキュリティ対策製品まで、また、携帯電話回線4G、5GやWi-Fiを利用したハイビジョン・レベルの映像伝送システム、リモートドライブなどに取り組んでおります。

設立:1979年、売上155億円(2019年12月期・連結)、東証1部

HP:<https://www.soliton.co.jp/>

Facebook:<https://www.facebook.com/soliton.s/>

Twitter: https://twitter.com/soliton_jp

【 CCDS との提携に関する問合せ先について 】

株式会社ソリトンシステムズ ITセキュリティ事業部

Tel: 03-5360-3811 iot@list.soliton.co.jp

【 このリリースに関するマスコミからの問合せ先 】

株式会社ソリトンシステムズ 広報

Tel: 03-5360-3814 press@soliton.co.jp

※記載の社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。